

## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月5日

上場会社名	バンダイネットワークス株式会社	上場取引所	JASDAQ
コード番号	3725	URL	<a href="http://www.bandai-net.com/">http://www.bandai-net.com/</a>
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	大下 聡
問合せ先責任者	(役職名) 取締役 経営企画担当	(氏名)	加藤 栄治
		TEL	(03)6215-7655

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	8,956	(△2.2)	624	(△4.8)	639	(△3.4)	329	(△11.5)
19年3月期第3四半期	9,156	(△2.5)	655	(△54.4)	661	(△54.2)	372	(-)
(参考) 19年3月期	12,489		864		880		510	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	1,705	77	-	-
19年3月期第3四半期	1,926	89	-	-
(参考) 19年3月期	2,638	93	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第3四半期	10,315		8,086		78.4	41,804	15	
19年3月期第3四半期	10,063		7,636		75.8	39,454	41	
(参考) 19年3月期	11,186		8,130		72.7	42,019	04	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	47		△420		△116		1,963	
19年3月期第3四半期	167		△2,265		△116		1,862	
(参考) 19年3月期	510		△2,018		△116		2,452	

### 2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	11,500	(△7.9)	1,000	(15.7)	1,000	(13.6)	600	(17.5)	3,101	81

## 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無  
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、6 ページ【定性的情報・財務諸表等】 5. その他をご覧ください。

**※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

実際の業績に影響を与え得る重要な要因には、事業を取り巻く経済動向・市場環境、競合会社の動向、個人情報の管理に関する事項、システムトラブル、訴訟等の可能性等が含まれます。

なお、業績予想の前提となる仮定等については、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

(期首からの累計期間の経営成績)

当社グループを取り巻く事業環境といたしましては、モバイル・PCともにブロードバンド化が進み、インターネット市場の拡大を促進しております。携帯電話機等の加入者数は、平成19年12月末時点で1億530万人（前年同期比5.5%増）、携帯IP接続サービス（PHSを除く。）で8,728万人（同5.7%増）と加入者数の伸びは鈍化傾向にあるものの、高速データ通信が可能な第3世代携帯電話の加入者数は8,330万人（同31.8%増）と急速に普及しております。また、光ファイバ接続サービスやADSL等に代表される主要ブロードバンド契約者数は、平成19年9月末現在で2,776万人（同10.9%増）となる等、依然として拡大を続けております。（社団法人電気通信事業者協会、総務省調べ）

このような状況のなか、当社グループは、キャラクターマーチャンダイジングのノウハウとエンターテインメントプロバイダーのパイオニアとしての強みを積極的に活用し、ゲーム、サウンド、待受画面等の様々なモバイルコンテンツの充実および効率運営に努めてまいりました。また、「3Dエンジン」をはじめとする携帯電話機向け新規技術の提供やモバイルサイトのシステム開発等の企業向けソリューション、モバイル・PC向け通販やマーケティング事業等、業容拡大に向けた取り組みを行ってまいりました。しかしながら、高付加価値コンテンツの拡充や品質維持に伴う開発費の増加に加え、TOB対応に関わる諸手数料の発生等が影響し、当第3四半期の業績につきましては、売上高89億56百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益6億24百万円（前年同期比4.8%減）、経常利益6億39百万円（前年同期比3.4%減）、四半期純利益3億29百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

[コンテンツ事業セグメント]

ゲーム分野におきましては、ユーザーニーズが多様化するなか、ますます加速する携帯電話機の高機能化に即時に対応し、最新の技術・機能を駆使した高付加価値コンテンツを提供する一方、誰でも手軽に楽しめるカジュアルゲームを提供する等、ユーザーの用途に合わせたコンテンツを積極的に展開してまいりました。また、料金体系にも複数のコースを用意し、選択肢の幅を持たせることで、よりユーザーの嗜好や多様性への対応を進めてまいりました。この結果、プロモーションの積極的展開等の効果もあり、定番となっている「SIMPLE100シリーズ」や「ズーキーパー」シリーズが順調に推移したほか、ドラゴンボールの世界観を満喫できる総合ゲームサイト「ドラゴンボールモバイル」やアーケードゲームと連動した「機動戦士ガンダム 戦場の絆」が人気を博しました。これにより、平成19年12月時点の会員数は203万人（前年同期比22.7%増）となりました。

サウンド・映像分野におきましては、人気アニメーションをフルバージョンでストリーミング配信する「アニメ.モビ」が、対応端末の増加や、テレビアニメ「機動戦士ガンダム」全話の配信を開始するなど配信作品の充実を図ったことにより順調に推移したものの、主力コンテンツである着信メロディコンテンツの会員数減少の影響が大きく、平成19年12月時点の会員数は49万人（前年同期比43.6%減）となりました。

キャラクター・総合分野におきましては、「ガンダム公式待受」、「ガンダム公式メロディ」、「ガンダム公式ボイス」の3サイトを統合した機動戦士ガンダム総合サイト「ガンダムGATE」の提供を開始する等、ユーザー満足度の向上や顧客単価の維持・引き上げのための施策を引き続き行ってまいりました。また、「ハローキティ」や「機動戦士ガンダム」等の人気キャラクターを利用した、携帯電話カスタマイズサービス等の新規コンテンツも、対応端末が増加したこと等により好調に推移しました。この結果、平成19年12月時点の会員数は116万人（前年同期比6.4%増）となりました。

コンテンツ事業セグメント全体としては、新規サービスや多様なユーザーニーズに対して、効率的かつ効果的にコンテンツ、サービスを展開することで、平成19年12月時点のモバイルコンテンツの有料会員数は368万人（前年同期比1.9%増）と上昇基調に転じましたが、高付加価値コンテンツの拡充や品質維持のための開発費等の増加により、売上高は58億71百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は9億82百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

## [ソリューション事業セグメント]

技術ライセンス分野におきましては、「2Dベクターエンジン」や「3Dエンジン」を各移動体通信事業者ならびに携帯電話機メーカーへ引き続き提供するとともに、携帯電話機上でのコンテンツの表現力やサービス展開の広がりを可能とする技術の研究・開発に注力してまいりました。

企業向けソリューション分野におきましては、当社グループの保有するシステム設計・開発・運営等のノウハウを活かした他社モバイルコンテンツサイトの企画・開発・運営等の受託案件が引き続き好調に推移したほか、ビジネスモデルの見直し等を実施し、利益率の改善に取組みました。

この結果、売上高は20億44百万円（前年同期比17.5%減）、営業利益は2億74百万円（前年同期比46.0%増）となりました。

## [その他事業セグメント]

コマース分野におきましては、モバイル通販において、顧客誘導策の基盤づくりに注力しつつ、当社グループにおけるモバイルサイト構築・運営のノウハウを活かし、ブランド力や商品力を持つ様々なパートナー企業と手を組み、市場拡大やユーザーニーズに対応するモバイル通販サイトの拡充を図ってまいりました。また、ネット通販サイト「LaLaBitマーケット」におきましては、幅広いユーザー層に対応するため、新しい商品カテゴリーにおけるキャラクターオリジナル商品の企画・開発に努め、「仮面ライダー」、「ウルトラセブン」等のキャラクターを使ったワインセットや、「機動戦士ガンダム」のバイクヘルメット等が人気となりました。

マーケティング分野におきましては、インターネット上のレストラン情報コミュニティサイト「アスクユー・ドットコム」において、GPSを活用した店舗検索サービス等を携帯電話機向けに開始したほか、小中学生を対象とした情報交換サイト「サークルリンク」において、インターネットとリアルイベントを融合した「全国小学生ミラクルクイズ」の実施や、アバター年賀状作成サービスを展開する等、コミュニティサイトの集客力を活用した新しい試みを引き続き実施してまいりました。

その他事業セグメント全体としては、マーケティング分野が育成期間であることや、コマース分野の運営コストの増加等の影響により、売上高は10億42百万円（前年同期比7.8%増）、営業損失は3億10百万円（前年同期比 - ）となりました。

(注) 1. 平成19年12月時点の会員数は速報値を用いております。

2. その他事業セグメントの営業利益は、前年同期、当第3四半期ともに営業損失のため前年同期との対比は行っておりません。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産につきましては、主に法人税等の債務の支払に伴う「現金及び預金」の減少により、103億15百万円と前連結会計年度末に比べ8億70百万円減少となりました。

負債につきましては、主に「未払法人税等」の債務の減少により、前連結会計年度末に比べ8億27百万円減少し、22億29百万円となりました。

なお、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、80億86百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の72.7%から78.4%となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、法人税等の支払等により、前連結会計年度末に比べ4億88百万円減少し、19億63百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、「税金等調整前四半期純利益」が5億60百万円（前年同期比1億16百万円減）となり、法人税等の支払5億99百万円（前年同期比84百万円減）等により、47百万円（前年同期比1億19百万円減）の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、貸付けによる支出3億円（前年同期比23億円減）等により4億20百万円（前年同期比18億45百万円減）の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払（前年同期比増減なし）により1億16百万円（前年同期比増減なし）の支出となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期につきましては、「選択と集中」による経営効率・事業効率の徹底を行うとともに、中期事業戦略に掲げた「コンテンツ事業」、「ソリューション事業」、「コマース事業」、「マーケティング事業」の4つの柱の連携による事業展開を中心に、「総合ネットワーク企業への飛躍」を目指してまいります。

当社グループの収益の基盤であるコンテンツ事業セグメントにおきましては、人気キャラクター・人気コンテンツを中心に、開発リソースを投下するタイトルを絞り込み、効率的な開発・展開を実施してまいります。ゲーム分野においては、主力の「ガンダム公式ゲーム」、「ONE PIECEモバイルジャック」、「ドラゴンボールモバイル」を中心に新規コンテンツを投入してまいります。サウンド・映像分野においては、「アニメ・モビ」による映像配信コンテンツの拡大を、キャラクター・総合分野では、「ガンダムGATE」の充実や、人気の携帯電話カスタマイズサービスを引き続き拡充してまいります。

ソリューション事業セグメントにおきましては、技術ライセンス分野において、引き続き携帯電話機上において魅力あるコンテンツ、サービスの展開が可能な技術開発・サービス提供を行うとともに、あらたな技術の発掘、開発等を行ってまいります。具体的には、次世代モバイルゲーム開発環境「X-F o r g e」の積極的な展開を行うとともに、引き続き既存技術である「2Dベクターエンジン」、「3Dエンジン」の拡充や、「画像認識エンジン」の技術ライセンス・サービス化の展開等をパートナー企業と連携して行ってまいります。また、企業向けソリューション分野におきましては、モバイルコンテンツに関する企画、技術のノウハウを活かした展開を積極的に行ってまいります。

その他事業セグメントにおきましては、コマース分野における収益力の強化、顧客誘導策の強化、商品構成の見直し等の対策を行ってまいります。モバイル通販サイトでは、コンサルタント業務を支えるサイト構築、システム管理・運営ノウハウや分析力のさらなる強化に努めてまいります。ネット通販サイト「L a L a B i tマーケット」では、顧客誘導のための施策としてオリジナル商品のシリーズ化等を実施してまいります。マーケティング分野におきましては、次期に向けた事業の育成期間と位置付け、バンダイナムコグループ内外との連携を強化し、様々なキャラクターコンテンツを活用しながら、自社メディアの展開を強化してまいります。具体的には「サークルリンク」等の自社メディアにおける集客力を強化しつつ、ネット通販サイトとの連動や、新サービス・事業の展開を積極的に行い、収益を獲得できる基盤の構築に取り組んでまいります。

なお、平成19年10月5日に「平成20年3月期中間期（連結・単独）業績予想との差異に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、平成20年3月期の通期の連結業績予想に変更はございません。

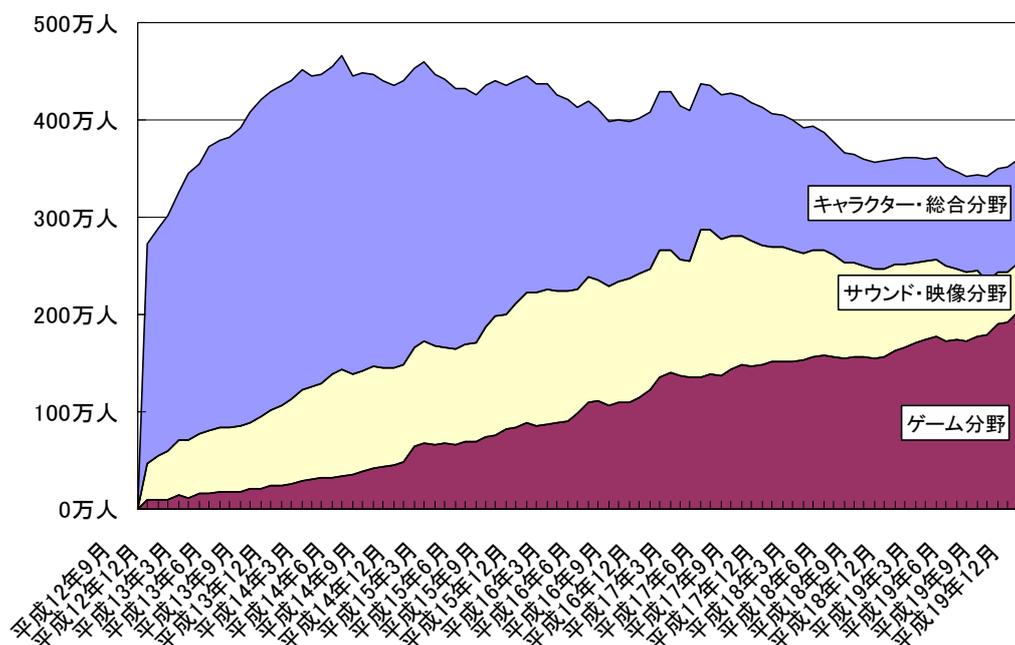
（株式会社バンダイナムコホールディングスによる完全子会社化について）

当社は、平成19年11月8日に当社の親会社である株式会社バンダイナムコホールディングス（以下、バンダイナムコホールディングスという。）が、完全子会社化を企図した当社株式の公開買付けを行なう決定に対し、同日開催の当社取締役会にて賛同表明を決議いたしました。当該公開買付け期間末日の翌日である平成19年12月11日には、バンダイナムコホールディングスより、当社株式177,951株、議決権割合で92.00%を保有した旨公表されました。

また、平成19年12月17日開催の当社取締役会では、当社を完全子会社化とするバンダイナムコホールディングスによる株式交換について決議し、同日株式交換契約を締結いたしました。本株式交換の効力発生日は、平成20年2月21日を予定しており、当該効力発生日に先立ち、平成20年2月15日をもって当社は株式会社ジャスダック証券取引所において上場廃止となる予定です。（本株式交換の詳細については、平成19年12月17日公表の当社資料をご参照ください。）

#### 4. 有料会員数

当第3四半期末までの有料会員数の推移は以下のとおりであります。



(注) 直近3ヵ月間の有料会員数は速報値を用いております。また、平成17年4月より(株)VIBEの有料会員数を加えております。

#### 5. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(会計方針の変更)

平成19年度の法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により、取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前第3四半期 (平成18年12月31日)	当第3四半期 (平成19年12月31日)	増減		(参考) 前連結会計年度 (平成19年3月31日)
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)					
<b>I 流動資産</b>					
1. 現金及び預金	1,862,074	1,963,585			2,452,034
2. 売掛金	2,612,883	2,594,620			2,902,448
3. たな卸資産	80,301	9,908			43,489
4. 繰延税金資産	67,012	154,575			178,549
5. 親会社に対する短期貸付金	2,600,000	2,800,000			2,500,000
6. その他	321,589	401,983			334,528
貸倒引当金	△24,604	△25,919			△23,810
流動資産合計	7,519,257	7,898,754	379,497	5.0	8,387,239
<b>II 固定資産</b>					
1. 有形固定資産					
(1) 建物	34,890	26,572			30,131
(2) 工具器具及び備品	168,964	118,002			143,708
有形固定資産合計	203,854	144,574	△59,279	△29.1	173,839
2. 無形固定資産	61,258	55,308	△5,949	△9.7	81,468
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	1,872,390	1,786,244			2,328,126
(2) 繰延税金資産	235,454	250,865			44,489
(3) その他	171,441	179,878			171,432
投資その他の資産合計	2,279,286	2,216,988	△62,297	△2.7	2,544,048
固定資産合計	2,544,398	2,416,871	△127,527	△5.0	2,799,356
資産合計	10,063,655	10,315,626	251,970	2.5	11,186,596

科目	前第 3 四半期 (平成18年12月31日)	当第 3 四半期 (平成19年12月31日)	増減		(参考) 前連結会計年度 (平成19年 3 月31日)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
<b>(負債の部)</b>					
<b>I 流動負債</b>					
1. 支払手形	7,980	—			5,728
2. 買掛金	1,680,982	1,395,409			1,938,369
3. 未払金	410,881	486,536			521,007
4. 未払費用	149,725	194,381			166,562
5. 未払法人税等	116,128	50,749			393,379
6. 役員賞与引当金	15,975	17,877			—
7. その他	45,513	84,285			31,347
流動負債合計	2,427,186	2,229,238	△197,947	△8.2	3,056,394
負債合計	2,427,186	2,229,238	△197,947	△8.2	3,056,394
<b>(純資産の部)</b>					
<b>I 株主資本</b>					
1. 資本金	1,113,371	1,113,371			1,113,371
2. 資本剰余金	806,860	806,860			806,860
3. 利益剰余金	4,946,206	5,297,833			5,083,939
株主資本合計	6,866,438	7,218,065	351,627	5.1	7,004,171
<b>II 評価・換算差額等</b>					
1. その他有価証券評価 差額金	765,426	868,321			1,123,783
評価・換算差額等合計	765,426	868,321	102,895	13.4	1,123,783
<b>III 少数株主持分</b>	4,604	—	△4,604	△100.0	2,247
純資産合計	7,636,469	8,086,387	449,918	5.9	8,130,201
負債純資産合計	10,063,655	10,315,626	251,970	2.5	11,186,596

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第 3 四半期 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年12月31日)	当第 3 四半期 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日)	増減		(参考) 前連結会計年度 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
<b>I 売上高</b>	9,156,581	8,956,807	△199,773	△2.2	12,489,257
<b>II 売上原価</b>	6,183,425	6,000,271	△183,153	△3.0	8,444,232
売上総利益	2,973,156	2,956,536	△16,620	△0.6	4,045,024
<b>III 販売費及び一般管理費</b>	2,317,346	2,331,971	14,624	0.6	3,180,548
1. 広告宣伝費	236,339	257,064			373,602
2. 回収代行手数料	562,298	595,638			754,557
3. 役員報酬	124,623	115,185			169,356
4. 給与手当	280,102	293,050			371,987
5. 賞与	69,266	88,052			91,254
6. 役員賞与引当金繰入額	15,975	17,877			—
7. 研究開発費	244,341	197,867			390,783
8. 貸倒損失	23,117	32,231			38,568
9. 貸倒引当金繰入額	24,604	25,919			23,810
10. 減価償却費	53,343	44,393			69,758
11. その他	683,335	664,692			896,869
営業利益	655,809	624,564	△31,244	△4.8	864,476
<b>IV 営業外収益</b>	5,958	16,526	10,568	177.4	15,694
1. 受取利息	2,165	13,955			5,457
2. 有価証券利息	395	677			586
3. 受取配当金	1,650	600			1,650
4. 為替差益	559	—			1,948
5. その他	1,187	1,293			6,051
<b>V 営業外費用</b>	—	1,754	1,754	—	—
1. 為替差損	—	1,754			—
経常利益	661,767	639,336	△22,430	△3.4	880,171

科目	前第 3 四半期 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年12月31日)	当第 3 四半期 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日)	増減		(参考) 前連結会計年度 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
<b>Ⅵ 特別利益</b>	287,640	38,477	△249,162	△86.6	467,069
1. 固定資産売却益	724	—			724
2. 投資有価証券売却益	286,916	595			466,345
3. 違約金	—	37,882			—
<b>Ⅶ 特別損失</b>	272,924	117,639	△155,284	△56.9	426,983
1. 固定資産除却損	1,070	5,732			13,643
2. 投資有価証券評価損	271,853	111,907			413,339
税金等調整前四半期(当期)純利益	676,483	560,174	△116,309	△17.2	920,256
法人税等	304,210	230,218	△73,992	△24.3	410,274
少数株主損失	457	—	△457	△100.0	480
四半期(当期)純利益	372,729	329,955	△42,774	△11.5	510,462

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期連結会計期間(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本				評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		
平成18年3月31日 残高 (千円)	1,113,371	806,860	4,689,537	6,609,769	1,028,640	5,061	7,643,471
四半期連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当 (千円)			△116,061	△116,061			△116,061
四半期純利益 (千円)			372,729	372,729			372,729
株主資本以外の項目の四半期連結 会計期間中の変動額(純額) (千円)					△263,214	△457	△263,671
四半期連結会計期間中の変動額 合計 (千円)	—	—	256,668	256,668	△263,214	△457	△7,002
平成18年12月31日 残高 (千円)	1,113,371	806,860	4,946,206	6,866,438	765,426	4,604	7,636,469

当第3四半期連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	株主資本				評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		
平成19年3月31日 残高 (千円)	1,113,371	806,860	5,083,939	7,004,171	1,123,783	2,247	8,130,201
四半期連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当 (千円)			△116,061	△116,061			△116,061
四半期純利益 (千円)			329,955	329,955			329,955
株主資本以外の項目の四半期連結 会計期間中の変動額(純額) (千円)					△255,461	△2,247	△257,708
四半期連結会計期間中の変動額 合計 (千円)	—	—	213,894	213,894	△255,461	△2,247	△43,814
平成19年12月31日 残高 (千円)	1,113,371	806,860	5,297,833	7,218,065	868,321	—	8,086,387

(参考) 前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本				評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		
平成18年3月31日 残高 (千円)	1,113,371	806,860	4,689,537	6,609,769	1,028,640	5,061	7,643,471
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当 (千円)			△116,061	△116,061			△116,061
当期純利益 (千円)			510,462	510,462			510,462
株主資本以外の項目の連結会計年 度中の変動額 (純額) (千円)					95,142	△2,813	92,328
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	—	—	394,401	394,401	95,142	△2,813	486,729
平成19年3月31日 残高 (千円)	1,113,371	806,860	5,083,939	7,004,171	1,123,783	2,247	8,130,201

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(参考) 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期(当期)純利益	676,483	560,174	920,256
減価償却費	126,728	130,340	173,259
貸倒引当金の増減額	△6,462	2,108	△7,256
役員賞与引当金の増減額	15,975	17,877	—
受取利息及び受取配当金	△4,210	△15,233	△7,694
固定資産除却損	1,070	5,732	13,643
固定資産売却損益	△724	—	△724
投資有価証券評価損	271,853	111,907	413,339
投資有価証券売却損益	△286,916	△595	△466,345
受取違約金	—	△37,882	—
前渡金の増減額	△51,455	△66,968	△73,650
売上債権の増減額	289,318	307,827	△246
たな卸資産の増減額	△69,488	33,580	△32,676
仕入債務の増減額	20,755	△548,688	275,890
未払金の増減額	△33,924	△2,096	70,573
未払消費税等の増減額	△37,018	19,414	△37,018
その他	△64,597	83,168	△54,197
小計	847,388	600,668	1,187,156
利息及び配当金の受取額	4,128	15,097	7,668
違約金の受取額	—	23,676	—
法人税等の支払額	△683,861	△599,787	△683,884
法人税等の還付額	—	8,110	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,654	47,766	510,940

	前第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(参考) 前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
定期預金の払戻しによる収入	50,000	—	50,000
有形固定資産の取得による支出	△79,865	△68,416	△114,320
有形固定資産の売却による収入	3,000	—	3,000
無形固定資産の取得による支出	△68,105	△43,723	△69,595
無形固定資産の売却による収入	700	—	700
保証金等の差入による支出	—	△34,545	—
保証金等の回収による収入	—	28,910	—
投資有価証券の取得による支出	—	△500	—
投資有価証券の売却による収入	429,000	1,000	614,500
子会社株式の追加取得による支出	—	△2,880	△2,880
親会社への貸付けによる支出	△2,600,000	△300,000	△2,500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,265,270	△420,153	△2,018,596
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
配当金の支払額	△116,061	△116,061	△116,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,061	△116,061	△116,061
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額 (減少額:△)</b>	△2,213,677	△488,448	△1,623,717
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	4,075,751	2,452,034	4,075,751
<b>VI 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高</b>	1,862,074	1,963,585	2,452,034

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

	前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)					
	コンテンツ事業 (千円)	ソリューション 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,712,949	2,477,865	965,766	9,156,581	—	9,156,581
(2)セグメント間の内部売上又は振替高	—	—	834	834	△834	—
計	5,712,949	2,477,865	966,600	9,157,415	△834	9,156,581
営業費用	4,606,182	2,290,166	1,297,980	8,194,329	306,442	8,500,772
営業利益又は営業損失(△)	1,106,767	187,699	△331,380	963,086	△307,276	655,809

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

- (1) コンテンツ事業                     ・・・ 携帯電話機向けコンテンツ配信等
- (2) ソリューション事業              ・・・ 携帯電話機向けソリューション提供等
- (3) その他事業                         ・・・ ネット通販、ネット広告等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は307,846千円であります。その主なものは、当社の経営企画部門等に係る費用であります。

	当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)					
	コンテンツ事業 (千円)	ソリューション 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,871,832	2,044,487	1,040,487	8,956,807	—	8,956,807
(2)セグメント間の内部売上又は振替高	—	—	1,884	1,884	△1,884	—
計	5,871,832	2,044,487	1,042,371	8,958,691	△1,884	8,956,807
営業費用	4,888,986	1,770,404	1,352,547	8,011,939	320,303	8,332,242
営業利益又は営業損失(△)	982,845	274,082	△310,176	946,752	△322,187	624,564

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

- (1) コンテンツ事業                     ・・・ 携帯電話機向けコンテンツ配信等
- (2) ソリューション事業              ・・・ 携帯電話機向けソリューション提供等
- (3) その他事業                         ・・・ ネット通販等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は322,199千円であります。その主なものは、当社の経営企画部門等に係る費用であります。

	(参考) 前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)					
	コンテンツ事業 (千円)	ソリューション 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,662,379	3,446,955	1,379,922	12,489,257	-	12,489,257
(2) セグメント間の内部売上又は振替高	-	-	1,356	1,356	△1,356	-
計	7,662,379	3,446,955	1,381,278	12,490,613	△1,356	12,489,257
営業費用	6,190,012	3,119,380	1,939,535	11,248,928	375,852	11,624,781
営業利益又は営業損失 (△)	1,472,367	327,575	△558,256	1,241,685	△377,208	864,476

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

- (1) コンテンツ事業                     ・・・ 携帯電話機向けコンテンツ配信等
- (2) ソリューション事業              ・・・ 携帯電話機向けソリューション提供等
- (3) その他事業                         ・・・ ネット通販等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は377,766千円であります。その主なものは、当社の経営企画部門等に係る費用であります。